

構成要素ごとの現状確認シート

令和元年度精神障害にも対応した
地域包括ケアシステム構築支援事業

アドバイザースキルアップ研修(R1.10)

参考資料1

構成要素	現在行っている取組	参考例
医療		<p>精神障害者(疑いを含む)が適時適切に必要な医療にアクセスするための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・保健的アウトリーチの充実と効果的な支援のあり方(医療と保健の連携など)の検討 精神科救急医療体制整備 地域の身体科医療機関、学校、職場、行政等との連携 <p>精神障害者を地域で支える医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の推進 外来機能(デイケア、訪問サービス、ケースマネジメント)の強化 精神医療と身体科医療の連携 入院患者の早期の地域移行・地域定着に資する取り組みの実施と検証 長期入院精神障害者の効果的な退院支援プログラムの提示 治療抵抗性統合失調症治療薬の一層の普及 必要な医療の継続支援に資する取り組みの実施と検証
障害福祉・介護		<p>精神障害者の地域生活のために必要な障害福祉・介護サービスの確保と利用・連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域移行・地域定着のために必要な基盤整備量の目標を明確にし、障害福祉計画等と整合性をはかりつつ基盤整備を推進 地域相談支援の利用促進 精神障害者支援の質を確保するための事業者の育成 効果的な支援プラン、ノウハウの共有 介護支援専門員等への効果的な研修等の検討、介護と福祉の連携
住まい		<p>精神障害者が地域で暮らす場(住まい)の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の住まい確保に係る課題等の実態把握と、必要なグループホーム、高齢者向け住まい等の整備 自立生活援助サービスなど地域支援の充実・活用等による公営住宅等への入居促進、精神障害者が入居可能な賃貸住宅の登録促進、マッチング・入居支援 精神障害者の円滑な住まい確保にむけた地域関係者への手引きの作成、周知 住宅セーフティネット制度の周知、居住支援協議会との連携
保健・予防		<p>メンタルヘルス問題全般の早期発見と介入</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不調に対するセルフチェック、援助希求行動促進のための啓発 精神保健相談業務の充実、窓口の周知、相談ルート整備 必要な支援(医療を含む)へのアクセスの確保 家族支援の充実 ひきこもり支援、自殺予防施策等との連携
社会参加(就労)		<p>精神障害者の希望や適性を踏まえた就労等支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の社会参加促進のための効果的な支援事例の収集・ノウハウの共有 精神科医療機関、障害福祉サービス事業者とハローワーク、企業、学校の連携促進 精神障害者雇用トータルサポーター、ジョブコーチによる職場定着支援 就労定着支援事業の活用促進 ピアサポーターの活躍の機会の確保
地域の助け合い・教育(普及啓発)		<p>地域住民の精神障害への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 当事者や家族等と連携した精神障害の理解促進に向けた効果的な普及・啓発の推進 精神障害者地域生活サポーター(仮称)の養成 学校教育との連携 ピアサポーター、当事者団体、家族会等の活動支援